

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 11 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2025 年 6 月 2 日(月)			
開催時間	開会	18：30	閉会	20：35
開催場所	市役所 3 階 303 会議室 オンライン併用			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏、志知貴文氏、政金裕太氏 O L：鈴木孝之氏、細谷啓太氏、瀧内貫氏			
事務局・職員	会場：織井邦明企画政策課長、企画部企画政策課 有賀慎企画政策課長補佐、 村田和也新産業技術推進係長、地域創造課 政金僚子集落支援員			
関係者	—			
欠席者	土田智氏			
議事	1、「対話・つながり・実現の場」詳細について			

議事項目	概要	次のステップ
1、「対話・つながり・実現の場」詳細について		
あいさつ	○WG メンバー	
確認事項	・ 6 月 15 日(日)「対話・つながり・実現の場」開催前の WG は今日最後となる。第 1 部から第 2 部にかけて順を追って細かなところを詰めていきたい。	
	○WG メンバー	
	・ 雨天でも決行するか。 →ひどい雨でなければ開催する。(一同) →天候が悪ければ、他コースからイーナちゃんバスコースに振り替えてもらってもよい。(事務局)	【決定事項】 ・ 雨天決行
	・ 受付を済ませた段階で各コースに分かれてもらいたい。各コースのプラカードみたいなものがあればよい。	【準備品】 ・ 各コースのプラカード
	・ いなっせ北東側広場で、「まち歩き」の流れ、ルール説明をする担当者は誰にするか。 →事務局	【決定事項】 ・ 「まち歩き」の説明者は事務局とする。
	・ 参加者への配布物として、地図と市公式 LINE で写真やコメントを送信する手順のマニュアルを紙で用意する。	【準備品】 ・ 「まち歩き」地図 ・ 市公式 LINE からの写真・コメント・位置情報送信マニュアル
	・ 各コースのタイムキーパーはそれぞれ 2 人必要と思うが、2 人に足りていないところがある。 →伊那北駅周辺 WG、弥生ヶ丘高校 WG それぞれの事務局職員に声掛けをしており、タイムキーパーを務めてもらおうと考えている。(事務局)	

	・当日主催者側が連絡を取れる手段として LINE グループを作成してはどうか。 →LINE グループを作成するようメンバーにお願いする。(事務局) ○WG メンバー ・写真やコメントを「まち歩き」しながら送るか、allla に戻ってからまとめて送るか。前者であれば、「まち歩き」前の説明で参加者全員に伊那市公式 LINE の友だち追加をお願いすれば、allla に戻ってからの動きがスムーズになる。 →前者である。参加申込者に事前にメールで伊那市公式 LINE の友だち追加をお願いしてもよい。(事務局)	【準備】 ・WG+参加してもらえるまちづくり職員の LINE グループを作成する。
市公式 LINE からの写真等の送受信について	○WG メンバーから市公式 LINE からの写真等送受信について説明 ・発表・振り返り・交流タイムのときには、コースごとにピンが立った Google マイマップを見ることができる想定である。マップを見ながらどんな「まち歩き」をしたか、どんな写真を撮ったかなど話ができる。 ・できあがった Google マイマップを市公式 LINE の「スポット検索」機能に上げておけば、今回の「まち歩き」で参加者が何かを感じたスポットを巡る「まち歩き」にも使える。また、ブランディングサイトや市公式 HP でも共有できるかもしれない。 ・今回で終わりではなくて、2 回目の「まち歩き」をやって今回作成した Google マイマップをモリモリにしていくこともできる。	【準備】 ・申込者に事前にメールで伊那市公式 LINE の友だち追加をお願いする。
第 2 部の進め方について	○事務局 ・第 2 部開始の 15 時には各コース発表できる形にしておいてもらう予定であったが、少し忙しいと思う。15 時に allla に戻ってきた後に、各コースで振り返って内容を共有する時間を設けてから発表したほうがよいと思う。 →LINE で送った写真やコメントが allla でちゃんと見られるのか、通信の問題等でうまくいかなかったときのこと考えると、各コースで共有する時間を設けておくことは必要であると考え。(WG メンバー) ○WG メンバー ・各コースの振り返りでは、各テーブルでモニターに映されたマップを見ながら、「このピンを立てたのは私です。ここではこんなことを感じました」とい	

「まち歩き」の 視点について	う具合に説明してってもらい、各コースから全体への発表でも写真を見せながら発表する想定か。 →あまり時間がないので各グループから全体への発表で写真を見せながらやっているとマゴつくと思う。全体への発表は口頭でよいのではないか。その後入り混じって対話を行うときにあらためて写真やコメントを見返せばよいのではないか。(事務局) ○WG メンバー ・当日参加者個人のスマホで Google マイマップを見ることができないか。 ・例えば1 コースに 10 数人もいると、1 テーブル 1 モニターでは見たいものが見られない。それで交流につながるだろうか。それぞれの集めてきた写真によるマップこそが成果なので、それをさらに深めたり、そこから傾向を見つけたり、次につなげるためには、もっと自由に「まち歩き」で参加者が関心を持ったものをその場で見られるようにしたい。 →ある程度検閲をしたうえで後日共有する予定である。(事務局) ○WG メンバー ・例えば人の顔や表札を映さないとか、個人情報コメントしないとかできるだけシンプルにルールを決めておけばどうか。Google マイマップはその日しか見られない設定にできるのか。 →当日は全体共有の設定として、16:30 の時点で編集メンバーだけの共有という切り替えができればイベント中みんながスマホから見られてもよいのではないか。(WG メンバー) ○WG メンバー ・どういう「視点」でのコメントなのかをコメントの中にどう表現するか。 →必ずしも1つの「視点」から見たときのコメントばかりでなく、いくつかの「視点」から見ても同じコメントになる場合もある。(事務局) →コメントの入力が複雑になってもいけないので、コメント欄に「こういう視点で見たらこうでした」と書いてもらえばよいのではないか。(WG メンバー) ・「あなたは、この『視点』で『まち歩き』をしてください」と指名してしまうと、他の「視点」で気づいたことをコメントできない。いくつかの「視点」	【準備品】 ・写真やコメント送信時に気を付けることをまとめた紙 【決定事項】 ・当日は、参加者のスマホからも Google マイマップが見られるようにする。
---------------------------	--	--

ファシリテーター	を示しておいて、1 人の参加者がいろいろな「視点」でコメントしてもらってよい。(WG メンバー) ○WG メンバー ・第 2 部での各コースのファシリテーターは、各コースのタイムキーパーにお願いします。 ・allla では、各コースで各コースのマップを見て振り返りができるか。 →マイマップは全体で 1 枚のつもりである。手作業であるがピンの色をコースごとに変えるとかはできる。(WG メンバー) →参加者の立場で考えると、たくさん写真集めた結果が今後どう活かされるのかわからないとそのままふわっと終わってしまう。今後マップが共有されること、興味が近い人とつながって一緒に事業を起こせる可能性があることなどが伝わらないと、ただ「まち歩き」をして写真撮って、情報提供しておしまいかって思ってしまう。まちなかエリア高度化 WG 自体が今後どうなっていくのかも含め伝えておいたほうがよい。(WG メンバー) ・全体ファシリテーターには、今回のイベント後に今回作成した Google マイマップがどんな活用可能性があるのかということも話してもらえればと思う。 →市民の手で見える化して、知って、考えるということはずごくまちづくりに活かされるということ、そんな世界を目指していきたいということを何か他の素材も使いながら話したい。(全体ファシリテーター)	【決定事項】 ・第 2 部全体ファシリテーター - WG メンバー ・第 2 部各コースファシリテーター - 各コースタイムキーパー
交流タイム	○WG メンバー ・各コース参加者入り混じっての交流タイムのグループ分けは、必ずしも各コースがテーマである必要はないのではないかな。 →各コースの発表内容によって交流タイムの対話の内容も左右される。「魅力」と「課題」をしっかり発表してもらい「魅力」や「課題」ごとのグループ、まちづくり全体のことを話すグループ、マップをどう活用するかを話すグループ、例えばいなまちのことをもっと聞きたいグループ等で分けると話しやすい。(事務局) ○WG メンバー ・マップに立っているピンを見ると、この人がこのコメントをしたということがわかるので、直接その人のところへ行ってお話をしてもいい。グルー	

その他気になること	プに分かれるより個人になった方が面白いと思うが、難しい気もする。 →個人ごとに自由に話に行くのはなかなか難しいと思う。(一同) ○WG メンバー ・他の人の写真やコメントに対してコメントするとか「いいね」するとか、フィードバックできればよいと思う。 →アンケートで「このスポットのこの写真には共感できる」など回答してもらえればどうか。そのためには 16:30 で Google マイマップの共有が切れてしまうと難しいのでその日 1 日くらいは共有できてほしい。(事務局) ・今回も参加者アンケートを実施するか。 →実施する。弥生ヶ丘高校 WG の「対話・つながり・実現の場」のアンケート回収率が悪かったので、その場で紙に書いてもらった方が回収率は高いかもしれない。(事務局) ○WG メンバー ・「まち歩き」前に、市公式 LINE からの写真・コメント送信についての説明を全体ファシリテーターをお願いしたい。 ・地図については、ルートを示す目的でなく、各コースで今自分がどこにいるか、ここを曲がるとどこに出るかがわかる地図があった方がよい。 ・参加者番号と名前を書いてもらう名札が必要。参加者と主催者側を区別できるか。 →名札の紐の色等で区別可能である。名札ケースは地域創造課にある。(事務局) ・他の WG 事務局から参加してくれる職員は、今回の「対話・つながり・実現の場」の内容を知らないか。 →事前に説明しておくようにする。(事務局) ○事務局 ・「まち歩き」ではコースの中を自由に歩き回ってもらう感じか。 →移住者の方など土地勘がない方もいるのではないかと、タイムキーパーはオーソドックスなコースを歩き、そこを一緒に歩けるようにしておく必要があるのではないか。(事務局) ○WG メンバー	【決定事項】 ・「まち歩き」前に市公式 LINE からの送信について全体ファシリテーターから説明してもらう。 【準備品】 ・全体地図を拡大した各コースの地図 ・名札 【準備】 ・他 WG 事務局職員への事前説明
------------------	---	---

	・ まちなかに詳しくない参加者は、いくらかりードした方がよいと思う。歩きながら「視点」の話をした い がよいか。 → やっていたいただければありがたい。(一同) ○事務局 ・ 自分で自由に歩きたい参加者は自由に歩き、それ以外 の参加者はオーソドックスなコースと一緒に歩いて もらうようにする。 ○事務局 ・ 以前話のあった、いなまちの昔の写真が集まった が、どのように活用したらよいか。 → 各コースのタイムキーパーに2～3枚ずつ配れば よいのではないか。(WGメンバー) → まち歩きの視点としていろいろヒントになるもの があると幅が広がり助かる。(WGメンバー) ○WGメンバー ・ 参加者アンケートがまとまったところで次回WGを 開催する。 <全体の流れ> 9:00 企画政策課事務局 allla 集合会場準備 11:00 WGメンバーallla 集合 Google マイマップ操作研修 12:30 昼食を済ませ、いなっせへ移動 12:45 受付開始、受付後各コースに分かれる 13:00 説明 13:15 「まち歩き」開始 15:00 allla 集合 各コース振り返り どんな写真？魅力は？課題は？ 15:20 全体への発表 各コース5分 15:45 交流タイム (テーマでグループ分けして話し合い) ・ マップの活用 ・ まちづくりそのもの ・ まちなかのことを聞きたい ・ 発表で出た魅力・課題をテーマ×2テーブル 16:05 各グループ発表 16:15 振り返り 16:30 終了、片付け	【決定事項】 ・ タイムキーパーはオーソ ドックスなコースを歩 き、そこに付いてくる参 加者と自由に歩く参加者 と両方いる。 【準備品】 ・ いなまちの昔の写真を各 コースに分けて紙資料と しておく。
--	---	--

■今後のスケジュール

<まちなかエリア高度化 WG「対話・つながり・実現の場」>

・ 6 月 15 日(日)

○第 1 部 「まち歩き」

・ 午後 1 時 伊那市生涯学習センターいなっせ北東側広場

○第 2 部 「発表・振り返り・交流」

・ 午後 3 時 伊那市産業と若者が息づく拠点施設 allla 1 階多目的室、2 階会議室

<次回 WG>

・ 7 月 3 日(木) 午後 6 時～ 伊那市役所 3 階 302 会議室（オンライン併用）